

南 一 弘 の

# 街を行く

第105回 ダラス Dallas

## 暑すぎるが、今後に目が離せない街

今回はひたすら暑い街、テキサス州のダラスに来ています。地理的にはちょうど米国本土の中心にあたります。ニューヨークからは3時間半のフライトで時差は1時間。ロサンゼルスからは同じく3時間半のフライトですが、こちらは時差が2時間あります。やっぱり米国はでかいですね！

この街はとにかく暑いっ！ 小生が訪れた日は35度を軽く超えていました。ただし蒸し暑い日本とは違い乾燥した気候で、屋外でも何とか過ごせます。

ダラスでは最近、新しい変化の兆しがあります。IT産業の波が押し寄せているのです。よく考えるとこの産業は、リアルでないシステムの世界であるからして、フライト疲れや暑さなどお構いなしで、所選ばずどんな市場にもアクセス可能、巨大な設備投資も不要です。よってこの街だけに限った話でもないかもしれません。

ひとつIT産業誘致の課題をあげれば、「労働力が確保可能か」どうかでしょう。労働力と言っても強固な肉体ではなく、優秀な頭脳を持ったエンジニアが不可欠です。これについてはエリア周辺に高水準の教育機関があればより有利となるでしょう。読者には「優秀な労働者が果たして地方に集まるか」疑問に思う方もいるかも知れませんが、米国の若者は何が何でも巨大都市で働きたいとは思っていないようです。近年日本でもこの傾向が現れはじめています。

さて、ダラスと聞けば、皆さんは何が頭に浮かびますか？

小生は何といっても、1963年11月22



「教科書倉庫ビル」オズワルドがここからケネディを狙撃した

日金曜日、現地時間12時30分に起きた「ケネディ暗殺事件」です。米国全土を震撼させ、国民を深い悲しみに陥れたあの出来事が一番先に浮かびます。この街の代名詞がその様になってしまったのです。写真は狙撃犯オズワルドが銃弾を発したテキサス教科書倉庫ビルです。現在は記念館として保存され多くの観光客が訪れています。小生も記念に事件時ケネディが乗っていたリンカーン・コンチネンタルの模型を買ってきました。長年このビルを訪れたいと思っていたケネディおたくの小生にとっては感動モノでした。

また、空港付近には多くの物流倉庫があり、この街が全米でもロジスティク分野の要衝であることがわかります(こんなに大きな倉庫が必要かな、と思うほどに圧倒されます)。アメリカは消費が大好きで、消費こそ国内経済を潤わ

せると信じ、細かなことは考えず成長めがけて突っ走る国(?)です。そしてインターネットの発達でITを牽引しマーケットを掌握しているのも事実です。この分野での立ち遅れが日本の前途を多難しているのもまた事実です。何とかリカバリーショットを打って欲しいですね。出張に行くたびに感じます。

南 一 弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アキュジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。